



JSTE

**Traffic Operations Practitioner
Traffic Operations Engineer**



交通工学研究会認定

トラフィック オペレーションズ プラクティショナ

(交通技術資格者)

TOP 資格試験

2023 年度

受験の手引

一般社団法人 交通工学研究会

JAPAN SOCIETY of TRAFFIC ENGINEERS

2023 年度 交通工学研究会認定 T O P 資格試験

受 験 の 手 引

一般社団法人 交通工学研究会
資 格 制 度 事 務 局

はじめに

我が国において道路交通はきわめて重要な役割を担っており、安全で円滑な道路交通への国民の期待は、益々高まりを見せています。道路や交差点の設計と改良、交通信号の表示調整、事故多発箇所の解析と改良をはじめ、さらには、大規模集客施設の立地に関わる交通アセスなど、実務においても道路交通技術の適用範囲は拡大する情勢です。このような道路交通技術に対する需要の急増に応えるためには、とりわけ道路交通技術者の質的及び量的な拡充が肝要です。

道路交通技術に関連する我が国の資格には国家資格である「技術士」の他、「R C C M」(建設コンサルタンツ協会)、「土木学会認定技術者資格」(土木学会)などがあります。しかし、これらの資格制度は、必ずしも道路交通に対象技術分野を絞っていないため、道路交通技術者の養成には直結しません。道路交通技術は多岐にわたる技術分野の総合としての応用技術です。また、制度的にも交通管理者である警察庁、道路管理者である国土交通省や、総務省、経済産業省など多くの省庁が関係しています。

以上の状況を踏まえて交通工学研究会においては、道路交通技術を駆使して専門業務に従事できる人材の育成を目指した道路交通技術に関わる資格制度を発足させることになり、2004 年度(平成 16 年度)から「交通工学研究会認定 T O P (交通技術資格者)」資格試験を実施しています。また、2006 年度(平成 18 年度)からは上位資格である「交通工学研究会認定 T O E (交通技術上級資格者)」資格試験を実施しています。

1. 資格の位置づけと受験資格

1.1 交通工学研究会認定TOP（交通技術資格者）

－ 2004年度（平成16年度）より実施 －

道路交通技術に関わる基礎的専門知識を有し、道路交通運用に関わる専門業務に従事できる能力を有する者を認定します。受験資格は特に定めません。

1.2 交通工学研究会認定TOE（交通技術上級資格者）

－ 2006年度（平成18年度）より実施 －

道路交通運用に関わる専門業務経験を豊富に持ち、かつ、道路交通技術に関わる高度な専門知識を広く体系的に有し、実務に指導的に取り組む能力を有する者を認定します。受験資格は特に定めません。

但し、試験合格後のTOE登録申請には、以下のa)及びb)が必要になります。

a) 「交通工学研究会認定TOP」資格の有効登録

b) 4年以上の道路交通技術分野の実務経験

詳細は「TOE資格試験 受験の手引」をご覧ください。

2. 試験の内容

「交通工学研究会認定TOP」資格試験は、以下の要領で実施いたします。

TOP資格試験はCBT(Computer Based Testing)方式で実施します。試験の運用を委託する日本通信紙(株)（[旧名称] (株)ジェイ・ジェイ・エス）の申込システム・全国受験会場を利用することにより、受験日時・受験会場が選択できるなど、受験しやすい環境となっています。

2.1 出題分野

交通調査、交通流現象、道路の設計、交通の管理と運用、交通安全、道路の計画と管理、法制度と環境影響評価制度

2.2 出題範囲

出題範囲は「道路交通技術必携2018 ; 交通工学研究会 発行 丸善出版 発売」の記述範囲内です。なお、WEBサイト (<https://www.jste.or.jp/toptoe/>) において修正情報を公表しております。受験にあたっては最新の修正情報をご確認ください。同書の内容や購入申込方法等は、この冊子の10ページ「図書の紹介」を御覧ください。

2.3 出題形式と出題数

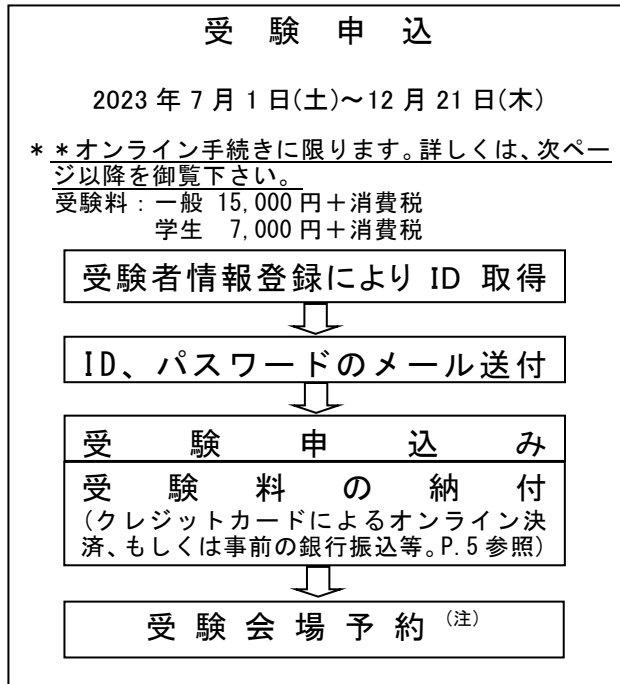
コンピューターより、五肢択一形式にて70問が出題されます。

2.4 評価

「交通工学研究会認定TOP」に望まれる一定の基準を満たしていることを、合格基準とします。

3. 交通工学会認定TOPの資格取得まで

TOPを一度合格・登録し、再度受験を考えている方は「資格更新の手引」を御覧いただきから受験を申し込んで下さい。



※IDは受験申込から登録時まで使用します。

受験申込から、受験登録確認書メールの送付と受験、合格発表、登録料のオンライン手続きまでの運用を日本通信紙(株)(旧名称:(株)ジェイ・ジェイ・エス)に委託しております。

(注) 受験会場予約
 複数の試験会場と試験日時の組み合わせの中から、任意の一つを選択して頂きます。変更も可能です。

受 験 登 録 確 認 書 メール の 送 付

受 験

2023年8月1日(火)~12月22日(金)
 全国の試験会場、日程よりご予約された会場・日時にて受験いただきます。

合 格 発 表

受験後にオンライン画面にて合否を通知します。

登 録 料 の オ ン ラ イ ン 手 続 き

日本通信紙(株)のサイトでの手続きです。

登 録

合格者は交通工学会のホームページから登録を申請することにより、登録後、最長4年1ヶ月間有効の「登録証」の交付を受けて「交通工学会認定TOP」の称号を使うことができます。
 登録料：一般 15,000円+消費税
 学生 7,000円+消費税

登録から更新までの運用を(株)JTBコミュニケーションデザインに委託しております。

詳しくは
 新規登録の手引をご覧ください

更 新

登録の有効期間内に、交通工学会が指定するCPD(継続研鑽)単位を取得することにより、更新することができます。
 更新料：一般 15,000円+消費税
 学生 7,000円+消費税

詳しくは
 資格更新の手引をご覧ください



4. 受験申込の方法等

4.1 受付期間

2023年7月1日(土)～12月21日(木)

*試験期間は2023年8月1日(火)～12月22日(金)です。希望試験会場・試験日時が合えば、受験日の1日前(土日祝を除く)の17:00まで予約・変更が行えます。

*TOP試験を受験して不合格になった方は、同一試験期間中に限り、割引受験料で再受験することができます。

4.2 受験申込先等

日本通信紙(株)(旧名称:(株)ジェイ・ジェイ・エス)のホームページからオンラインでの受験申込をして頂きます。

受験申込先 : 日本通信紙(株)(旧名称:(株)ジェイ・ジェイ・エス)
<https://jjs.co.jp/jstetoptoe/>

- | |
|---|
| <p>a) 電話や郵便等による手続きには、一切応じません。</p> <p>b) 受験申込内容に不備があった場合には、受験出来ない場合があります。</p> <p>c) 受験申込の受付が完了した後は、受験料は一切返却しません。</p> |
|---|

4.3 受験定員

特に定めません。

4.4 受験料

一般 15,000円+消費税 / 学生 7,000円+消費税

4.5 受験申込の手順

(1) 受験者IDの取得

オンライン画面の指示に従って、必要な事項を正確に入力して下さい。入力の内容等については、この冊子の9ページを参考にして下さい。入力完了後、登録されたメールアドレスにIDとパスワードが送付されます。

*IDとパスワード情報のメールが届かない場合は、問い合わせ窓口まで連絡して下さい。

受験者IDは、試験運用を委託する日本通信紙(株)(旧名称:(株)ジェイ・ジェイ・エス)が発行する個人IDであり、同社が取り扱う他の試験にも利用できます。

TOP資格試験においては、このIDが受験申込時・登録時に使用されます(従来の受験番号に相当するものです)。

(2) 受験申込み、受験料の納付

オンライン画面の指示に従って、受験申込および受験料の納付を行ってください。受験料は、クレジットカード番号等を入力するオンライン決済、もしくは事前の

銀行振込により発行する受験チケット番号を入力して受験料を納付頂きます。銀行振込先、受験チケット番号等についてはホームページをご覧ください。

その他、コンビニ支払い、銀行（Pay-easy）でもお受けできます。

（3）受験会場予約

2023年7月1日（土）～12月21日（木）の17:00まで予約、変更が行えます。

オンライン画面の指示に従って、試験会場・試験日時の複数の組み合わせの中から任意の一つを選択して頂きます。

*試験会場予約は先着順となりますので、お早めにご予約頂くことをお勧めいたします。

*ご希望にかなう試験会場・日時がない場合にはこの冊子の10ページの日本通信紙（株）試験事業部 問い合わせ窓口までご相談下さい。

（4）受験票

会場予約完了後に、登録されたメールアドレスに「受験登録確認書」が送付されます。このメールが受験票となりますので、印刷し予約された日時に試験会場へ必ず持参下さい。

*受験登録確認書メールが届かない場合には、問い合わせ窓口まで連絡して下さい。

5. 試験期間と試験会場

5.1 試験の日時

2023年8月1日（火）～12月22日（金）の約5ヶ月間

5.2 試験会場

全国の試験会場と試験日時の複数の組み合わせの中から予約された会場・日時にて受験して頂きます。

5.3 試験時間

2時間

6. 受験の注意事項

6.1 試験受付

試験当日は、試験開始時間の15分前までに会場にお越し下さい。

会場受付にて「身分証明書」及び、「受験登録確認書」を確認させて頂きます。

その後、Log Sheet に、氏名と入室時間をご記入頂きます。

*「身分証明書」、「受験登録確認書」を忘れた場合には、受験できない事があります。

a) 受験票 : 会場予約後にメールで送付される「受験登録確認書」を印刷して下さい。

b) 身分証明書 : 顔写真付きの身分証明書、以下のいずれか1点。

*パスポート、運転免許証、学生証（写真付き）、クレジットカード（写真付き）、社員証（写真付き）、住民基本台帳カード（写真付き）、マイナンバーカード（写

真付き) などをご用意下さい。

* 学生料金にて申し込みをされた方は、学生証が必須となります。

6.2 試験開始前

1. 試験開始時間になりましたらテストルームへご案内いたしますので、待合室にてお待ち下さい。
2. テストルームへ入室の際には、「受験登録確認書」のみお持ち下さい。
3. それ以外の荷物は試験監督者の指示に従い、所定の場所に収納して下さい。
4. 着席しましたら試験監督者の指示があるまで、マウス等の操作はできません。

6.3 試験開始～試験中

1. 試験監督者から試験開始の指示がありましたら、氏名を確認の上、画面の ID 入力欄に「受験登録確認書」に記載されている ID を入力して試験を開始して下さい。
2. コンピューターテストに慣れて頂くための練習問題(チュートリアル)が用意されております。練習問題は試験時間に含まれませんので、操作方法をご確認下さい。
3. メモ用紙・筆記用具は、座席に用意してあります。試験終了後、そのメモ用紙を持ち帰ることはできませんので、そのまま机の上に置いてお帰り下さい。
4. 試験の残り時間は画面の右上に表示されます。残り時間があっても全て終了した場合はいつでも試験を終了できます。
5. 画面上に試験終了のメッセージが出ましたら試験は終了です。
6. 試験形式や内容に関する質問には一切お答えできません。試験問題に関する不明点などがありましたらメモ用紙に記入して下さい。その内容を試験実施本部に報告します。
7. 試験中の離席は原則的に認められておりませんが、次の内容については手を挙げて試験監督者にお知らせ下さい。
 - 気分が悪くなった場合。
 - 手洗いにいきたい時。
 - 筆記用具が不足した時(メモ用紙、鉛筆など)。
 - 部屋の温度は最適に調整しておりますが、暑い、寒いなどの問題がある時。
 - 試験画面の表示や動作に不具合がある時。

6.4 試験終了後

1. 試験が終了したら速やかにテストルームから退室して下さい。
2. 退室される際は、他の受験者に迷惑が掛からないよう静かに退室下さい。
3. 受付にて退室時間を記入後、お帰り下さい。

6.5 試験会場における注意

1. 試験会場には、勉強する場所、自習席などは用意されておりません。
2. 交通機関遅延等の止むを得ない事情の場合には、試験会場受付に連絡下さい。
3. 「受験登録確認書」及び「身分証明書」を忘れた方は、試験会場受付で、係員の指示に従って下さい。
4. 携帯電話等はマナーモードではなく、必ず電源を切って、鞆の中にしまってください。また、アラームや計算機能の付いた時計も同様にしまってください。
5. 下記の行為等を試験監督者が発見し、不正行為とみなした場合には、受験が無効となり退場して頂きます。
 - 「受験登録確認書」以外の物を座席に持ち込む。
 - 私語や他の座席を覗く、およびまぎらわしい行為。
 - 試験終了後、メモ用紙を持ち帰る。
 - 他受験者への迷惑行為。
 - 公平な受験環境を保つための試験監督者指示に応じない場合。

7. 合格発表

受験後にオンライン画面にて合否を通知します。

受験者に合否のメールは送り返しませんのでご留意下さい。

資格の登録方法については、交通工学研究会ホームページの「新規登録の手引」をご覧ください。

8. 試験期間中再受験割引制度

TOP 試験を受験して不合格になった方^{*1}は、今年度の試験期間中に限り、以下の割引料金で再受験することができます^{*2}。

受験区分	通常受験料	割引受験料
一般	15,000 円＋消費税	7,500 円(50%割引)＋消費税
学生	7,000 円＋消費税	5,600 円(20%割引)＋消費税

※1：対象者以外に権利を譲り渡す事はできません。対象者以外が、本制度を利用して受験した場合、通常受験料と割引受験料との差額を請求されるか、合格を取り消される事があります。

※2：今年度の試験期間中であれば再受験の回数に制限はなく、全てに割引受験料が適用されます。

9. メールアドレス、住所等の変更について

受験申込み後、入力された事項に変更が生じた場合は、速やかにオンライン上で変更して下さい。「受験登録確認書」等の必要な案内や通知が届かずに受験できない場合があります。

個人情報の保護に関する取り組みについて

本資格試験に関して一般社団法人交通工学研究会及び日本通信紙株式会社（旧名称：(株) ジェイ・ジェイ・エス）が知り得た受験者個人に関わる情報は、本試験に関するもの以外には使用いたしません。また、個人の属性に関わる情報は統計的に処理し、個人を特定できるような方法では公表いたしません。

一般社団法人交通工学研究会

日本通信紙株式会社

参考資料：「受験者ID取得」の入力内容

オンライン申込時に入力する内容は以下となります。

受験登録確認書や合格後の登録手続きの情報などは、入力頂いたメールアドレス・住所に送付しますので、正確に入力下さい。

登録情報の入力	
※は必須項目です	
※ログインパスワード 半角英数字で入力して下さい 8文字以上	パスワード 確認用 確認用
※氏名（漢字）	(姓) (名) 例) 日本 例) 太郎
※フリガナ（カナ） 全角で入力して下さい	(姓) (名) ※例) ニホン ※例) タロウ
氏名（ローマ字） 半角英字で入力して下さい	(姓) (名) nihon taro 例) NIHON 例) TAROU
※生年月日 西暦を入力して下さい	2000 年 1 月 1 日 例) 2000年1月1日
※性別	<input type="radio"/> 男性 <input type="radio"/> 女性
※郵便番号 半角で入力して下さい	住所は、正確に入力をお願いします。 郵便番号 郵便番号を住所に変換する 例) 1620822
※都道府県	--
※市区町村	例 新宿区
※番地	例 下宮比町3番2号
ビル・マンション名	例 飯田橋スクエアビル6F
※携帯番号 ハイフン無し、半角数字で入力して下さい	例) 090123456789
メールアドレス	
JJSからの情報提供	<input type="checkbox"/> 希望する

戻る 確認

本試験に関する運用は、一般社団法人 交通工学研究会 が、日本通信紙株式会社（旧名称：（株）ジェイ・ジェイ・エス）に委託して行ないます。

■TOPオンライン手続き、試験会場のお問い合わせ、および当日のご連絡先

日本通信紙 株式会社 試験事業部 問い合わせ窓口

TEL 0120-046-336

問い合わせフォーム <https://www.jjstc.com/jjstc/2-1.html>

E-mail jjstc@jjs.net

〒113-0023 東京都文京区向丘 1-13-1 (KRD ビル 4F)

■その他のお問い合わせ先

一般社団法人 交通工学研究会 資格制度事務局

TEL 050-5507-7153

E-mail toptoe08@jste.or.jp

URL <https://www.jste.or.jp/>

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 3-23 (錦町 MK ビル 5 階)

..... 図書の紹介

【TOP/TOE 資格試験の基本テキスト】

■道路交通技術必携 2018

交通工学研究会 発行 丸善出版 発売 ISBN978-4-905990-88-8

2018(平成 30)年 5 月発行 A5 判 298 頁 本体価格 3,000 円+税 会員価格 2,700 円+税

目次

第 1 編 交通調査

第 3 編 道路の設計

第 5 編 交通安全

第 2 編 交通流現象

第 4 編 交通の管理と運用

第 6 編 道路の計画と管理

■道路交通技術必携 演習問題集 II

交通工学研究会 発行 丸善出版 発売 ISBN978-4-905990-83-3

2014(平成 26)年 4 月発行 74 頁 本体価格 1,200 円+税 会員価格 1,080 円+税

2008(平成 20)年度から 2010(平成 22)年度までの交通工学研究会認定 TOP 資格試験問題を「道路交通技術必携 2013」の編・章ごとにまとめたもので、TOP 試験の受験者用の演習問題集であると同時に一般的に交通工学を学ぶ方用の演習問題集です。なお、「道路交通技術必携 2018」の発刊に伴う「道路交通技術必携 演習問題集 II」の修正対応表は、WEB サイト (<https://www.jste.or.jp/toptoe/>) において公表しております。

図書に関する詳細は、交通工学研究会ホームページをご覧ください。 <https://www.jste.or.jp>

一般社団法人 交通工学研究会

JAPAN SOCIETY of TRAFFIC ENGINEERS